足立区立綾瀬小学校
教諭　大野　大輔

プレ授業　２年生

【本時のねらい】

思考・判断

友達のよい動きを見付けることができるようにする。(3/5)

【 本時の展開 】

成果○　課題△　改善案

△学習の流れを確認する。

上手なともだちを見付けよう！

準備運動をする。

○～あやせランドへ Let's Go!～

遊園地の雰囲気作りがよい。

△エアーなわとび

○体のバランスをとる運動遊びに取り組む。

『どんぐりころころ』
寝ころぶ、起きる

『まねっこどんどん』
片足を軸にして回る

『幸せなら手をたたこう』
座る、立つ

『糸まきまき』
バランスを保つ

歌遊びがよい。しかし、動きのこつについては検討が必要。

なわを操作する運動遊びに取り組む。

○やってみる
△よい動きを共有する
○もう一度やってみる
○３０秒間チャレンジ

片付け・整理運動・振り返り

児童のよかった姿を３観点からたくさん紹介したため、本時で児童が何を頑張ればいいのかが不明確。

本時のめあてにつながるものを精選し、紹介する。１観点につき１つか、思考判断のもの１つにする。

バランスをとる運動遊びの前に行ったため活動がつながっていない。

バランスをとる運動遊びの後に、なわとびに入る前に行う.

自然発生的なペア学習にしてしまった結果、２人でやりたいのに相手が見つからない児童が出た。

ペアは事前かその時間の中で決めておく.

なわの展開を以下のようにするのはどうか。

やってみる（１人で）
よい動きを共有する
「１人でやった動きが２人でもできるかな？」
ともだちタイム①（２人で）
よい動きを共有する
ともだちタイム②（２人で）

１人目に「足のこつ」となる児童を紹介したが、「手のこつ」がつかめていない児童がいた。さらに、本時のめあてが「上手なともだちを見付ける」なのにもかかわらず、上手な友達を見付けている児童を紹介しなかった。

単元を通して、「手のこつ」を重点に紹介していく。
上手な友達を見付けている児童や、友達にインタビューをしている児童を紹介し価値付ける。